

第1週(12月29日～1月4日)トピックス:<インフルエンザ>

2026年

京都市の第1週のインフルエンザの定点当たり報告数は、6.86(前週24.74)、全国は10.35(前週22.77)と、ともに大きく減少しましたが、年末年始に伴う定点医療機関の休診等により、例年、第1週は報告数が少なくなる傾向があります。

今シーズン(2025/2026シーズン)の前週までの本市の状況を見ると、流行期入りの目安である定点当たり報告数「1.0」を超過してシーズン入りした後、例年に比べ早い時期から報告数が増加し、第46週(11月10日～16日)時点で警報レベルの開始基準値である「30」を超え「40.26」となり、前週の第52週(12月22日～28日)の時点においても報告数は「24.74」と、警報レベルの終息基準値である「10」を超えており、今後の発生動向に注意が必要です(図1、表1)。

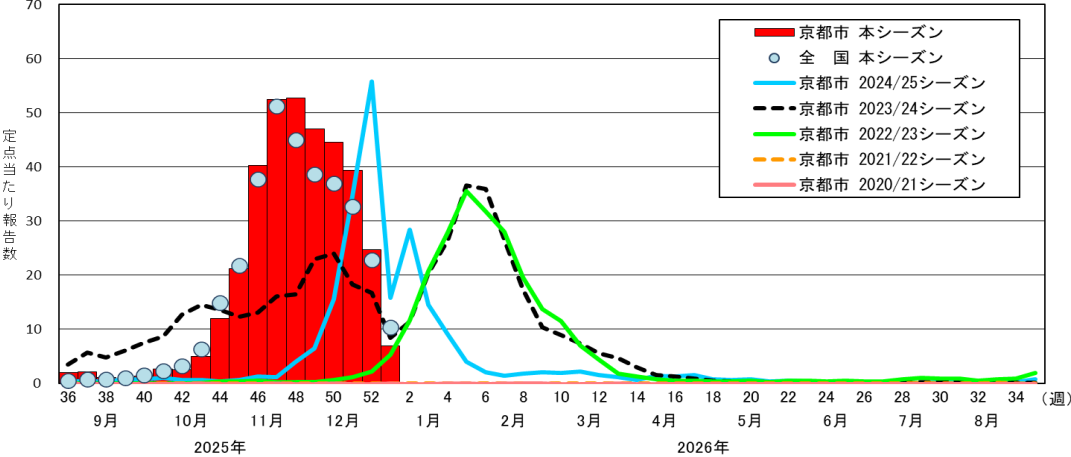
今シーズンのこれまでの全国のウイルス型別検出割合を過去2シーズンと比較すると、今シーズンはA(H3)型が90.8%と非常に高い割合を占めています(図2)。その原因として、A(H3)型の変異株「サブクレードK」の出現が報道等でも取り上げられています。サブクレードKは、これまでのウイルスより感染の拡大スピードが速く、今シーズンの流行が例年に比べ早い原因とされています。なお、症状や重症度は従来の季節性インフルエンザと大きく変わりません(下記URL参照)。

インフルエンザの症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて、のどの痛み、鼻汁、せきなどの症状も見られ、小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を併発する等、重症化することがあります。ウイルスに複数の型があるため、同じシーズン中に複数回感染することもあります。

このため、65歳以上の高齢者では、重症化予防のため、インフルエンザワクチンの接種が推奨されています。ワクチンを接種すれば、インフルエンザに絶対に感染しないわけではありませんが、発病後の重症化や死亡を予防することに、一定の効果があることが認められています。本市においては、65歳以上の市民を対象にインフルエンザ予防接種が令和7年10月15日～令和8年1月31日に実施されています(下記ホームページ参照)。重症化予防のため、積極的にインフルエンザワクチンを接種をしましょう。また、感染防止のために手洗いや咳エチケットの励行、免疫力向上のためにバランスの取れた食事や十分な睡眠などを心掛けましょう。

- 令和7年度 京都市高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ(京都市情報館)  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000345503.html>
- インフルエンザウイルスのサブクレードKについて(新型インフルエンザ等対策推進会議(第20回)資料)  
[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/dai20\\_2025/gijisidai\\_6.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/dai20_2025/gijisidai_6.pdf)

(図1)京都市及び全国のインフルエンザ定点当たり報告数の推移(2025/2026シーズン)



(表1)2025年/2026年シーズンの定点当たり報告数

年	週	期間	京都市定点当たり	全国定点当たり
2025年	第36週	(9月1日～9月7日)	2.00	0.50
	第37週	(9月8日～9月14日)	2.06	0.71
	第38週	(9月15日～9月21日)	1.03	0.78
	第39週	(9月22日～9月28日)	0.74	1.04
	第40週	(9月29日～10月5日)	1.37	1.56
	第41週	(10月6日～10月12日)	2.60	2.36
	第42週	(10月13日～10月19日)	2.51	3.26
	第43週	(10月20日～10月26日)	4.91	6.29
	第44週	(10月27日～11月2日)	12.03	14.90
	第45週	(11月3日～11月9日)	21.17	21.82
	第46週	(11月10日～11月16日)	40.26	37.75
	第47週	(11月17日～11月23日)	52.46	51.24
	第48週	(11月24日～11月30日)	52.69	45.00
2026年	第49週	(12月1日～12月7日)	47.06	38.59
	第50週	(12月8日～12月14日)	44.51	36.99
	第51週	(12月15日～12月21日)	39.40	32.71
	第52週	(12月22日～12月28日)	24.74	22.77
2026年	第1週	(12月29日～1月4日)	6.86	10.35

【流行期入り目安及び注意報、警報の基準】

- ・流行期入り目安(!)  
定点当たり報告数が「1」以上となったとき
- ・注意報基準値(#)  
定点当たり報告数が「10」以上となったとき
- ・警報開始基準値(★)  
定点当たり報告数が「30」以上となったとき
- ・警報継続基準値  
定点当たり報告数が「10」以上であるとき

図2 全国のインフルエンザウイルス型別検出割合(直近3シーズン)

